

睦会だより



クリスマス会

12月16日、遠野コロニー・石上の園・多賀の里において、クリスマス会がおこなわれました。毎年恒例の行事で、踊りあり歌あり、一番のお楽しみのプレゼントありで、それぞれに盛り上がり一年をしめくくりました。



主な内容

- ◆相談支援事業の現状と課題・・・・・・・・・・・・・2P
- ◆瑞宝双光章受章・厚生労働大臣表彰受賞紹介・・・・・・3P
- ◆フォトグラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4P/5P
- ◆職員紹介・ご奉仕くださった方々・・・・・・・・・・・・・・6P

陸会が運営する相談支援事業所「らいと」は、遠野健康福祉の里を窓口として、相談支援専門員二名を配置し、日々障がい者に対する相談支援業務を行っています。

実際に業務に携わっている立場から、相談支援専門員の菊池亨・菊池妙子両名に、事業の現状と課題について意見を集約し述べていただきますのでご紹介します。



相談支援事業の現状と課題

相談支援事業の主な目的は、障がいをお持ちの方々の願いや望み(ニーズ)に寄り添うと共に、住み慣れた地域において安心して生活を送ることができるよう、福祉サービスに限らず様々な情報提供を行うこと、支援を必要とする場合はご家族や関係機関等への働きかけを行うサービス利用のお手伝いをする

こと、ご本人の持つ強みを生かすと共に状況に応じて必要な助言や支援を行うことであり、自己決定や自己実現を支えるためのものであるとされています。これらの目的を実現することは相談支援事業所「らいと」の役割でもあります。

相談支援事業の現状については、遠野市における相談内容の推移から状況が見て取れます。最近の相談内容では、就労に関する相談件数の増加が顕著となっています。その中で特に精神障がいをお持ちである方が就労を希望する相談が増えていきます。その根底には、何らかの事情により就労から遠ざかっていった方々が、日々の生活を送る上で重要な要素となる経済的安定を求めていることが背景にあると考えられます。相談者は仕事をしたい、続けたいという気持ちをお持ちであるにも関わらず、その対処法が分からずにストレスを抱え込んでしまうことが多いようです。ハローワークをはじめとする就労関係機関との連携、各事業所にその方の障がい特性をご理解いただき相互理解の下で就労につなげていく支援が必要となっています。

遠野市における相談支援事業の現状として、市内に相談を受ける事業所が一つしかなく、相談に十分対応できていないのが実情です。相談員一人当たりが対応できる件数には限界があるため、潜在的なニーズを汲み上げ切れず、結果として支援を必要とする方が取り残されています。この課題を解決するためには、相談支援事業を運営する事業者が今後増えることが望まれます。また、相談支援事業所の存在が市民の皆さんに十分に浸透しているとは言えません。今後も啓発活動を通じて、社会全体の理解を広めていくことが必要であると感じています。量的・質的な相談支援体制の拡充が図られることによって、初めて地域を支える相談支援システムが確立されるものと思われれます。

当事業所としては、今後も行政や各関係機関からのご支援とご協力をいただきながら、地域の方々の協働を通じて、障がいがあっても住みよい地域生活を送ることができるよう支援したいと思えます。また、常々身近な相談相手のような存在でありたいと思えます。ぜひ、お気軽にご相談下さい。

善意による 歯科検診



毎年、岩手医大歯科診療センター・佐藤歯科医院の善意により歯科検診を行っております。

施設においてをいただき、岩手医大歯科診療センターの皆さんには石上の園の利用者を対象に、佐藤歯科医院の皆さんには遠野コロニー利用者を対象に、虫歯や歯周病のチェック、歯磨き指導などを行っていただきました。

障がいのある方は、その障がいのためにきちんとした歯磨きができず虫歯や歯周病を患ってしまうケースがあります。口の役割には、食べるだけではなくしゃべる、笑う、コミュニケーションをとるなど私たちの生活に深くかかわっているため、常に丈夫な歯を保っていることが重要です。

施設では、この検診結果を受けて、利用者の健全な口腔衛生に心がけ治療や指導に取り組んでいます。



瑞宝双光章受章



石上の園嘱託医師
三浦 史彦氏



当法人が運営する障害者支援施設石上の園嘱託医師の三浦史彦氏が、地域医療の確保と精神医療の充実に尽力されたことを評価されました。六角牛病院にて二十年来にわたり院長を務められたほか、石上の園の開所当初より、嘱託医師として利用者の健康増進に尽力いただきました。



厚生労働大臣表彰受賞



陸会理事
菊池 侂氏



当法人理事の菊池侂氏が、地域の障がい福祉や児童福祉の向上に貢献していることを評価され、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。知的障害者授産施設現障害者支援施設(石上の園園長、法人理事)として障がい者の自立支援に尽力されたほか、他の社会福祉法人の理事・理事長を歴任し、各法人の充実発展と市民福祉の向上に尽力されました。

65歳問題

障がい者であっても65歳になると障がい福祉サービスに相当する介護保険サービスがある場合には、原則として使用するサービスが切り替わる国の方針があります。

なぜそうなるのかというと、税金の有効活用を考慮しているからです。介護者がいる・あるいは財産をある程度所有している方は、自分で何とかする「自助」で、自助が難しい方は、保険を利用した「共助」で、それでもサービスが受けられない方は、ほとんどが税金で賄われる「公助」というように利用サービスに優先順位があります。

しかしながら、それまで使っていた障がい福祉サービスから介護保険サービスに変わる場合の課題として、

- ① 65歳を境に利用サービスが変わると、障がい者個人の意思に反していたり、新しい環境に適応できなかつたりする障がい者が出る。

- ② 受けられるサービス量が低下する場合がある。
- ③ 介護保険では、サービスの利用者負担(1割)が生じるので、サービスの利用を控える障がい者が出る。などが挙げられています。

これらの課題の対応策として国は、

- ① 障がい福祉サービス事業所が介護保険事業所の資格も取得しやすくなることにより、同じ事業所で障がい者の支援を継続する。

- ② 市町村の自主的対応に任せる。場合によっては、障がい福祉サービスとの併用利用もあり得る。

- ③ 一定の費用負担の軽減(政令で定める予定)を行う。などを示していますが、現状としては明確なものがなく、市町村の自主的裁量に大きく作用されている実態があります。

65歳問題は、障がい者の自己決定が最も優先されるべきことと認識されてきていることから、市町村の柔軟な対応が求められています。

ジンギスカンを食す日

(10月14日/遠野コロニー・紅葉給食



厨房さんの手作りおにぎりも絶品でおかわり続出です！

10月21日/石上の園・収穫祭)



春・秋、年2回の楽しみです！市外出身の利用者さんもすっかりジンギスカン好きになりました。



バイキング食

(6月24日/遠野コロニー・石上の園)



こちらも年2回の大イベント。ご馳走が並びます。



フォトクラブ

クリスマス会

(12月16日/遠野コロニー・石上の園・多賀の里)



お部屋ごとの出し物、特技の披露やカラオケなどなど、盛りだくさんのステージでした。



職員余興はお絵かき伝言ゲームで、個性豊かな(?)絵を描いた職員が、辛〜い罰ゲーム…。『エビカニクス』ダンスの披露もありました。

多賀の里では、恒例のビンゴ大会で大盛り上がり！

遠野市ふれあい交流会

(11月16日/於：上郷地区センター)



地域住民の方々や民生委員の皆さんと、ニュースポーツを通じ交流を深めました。この他にも、附馬牛小学校・綾織小学校児童の皆さんなど、一年を通じてたくさんの方々との交流の機会をいただき、楽しいふれあいの時間を過ごしています。

遠野第13区自治会との交流会

(7月25日/遠野コロニー)

リフレッシュ外出

今年度は石上の園が創立20周年を迎え、記念大阪旅行を実施しましたが、遠野コロニーと多賀の里では例年どおり、利用者の希望を取り入れたリフレッシュ外出をおこないました。



北上観光・鬼の館他(多賀の里)



仙台うみの杜水族館(遠野コロニー)



★ジンギスカンマラソン



★あっぱりレールマラソン



★かまいし仙人峠マラソン

マラソン参加

県内各地で行われるマラソン大会などに、石上の園の『走友会』のメンバーが参加しています。



大人の仲間入りをしました。おめでとうございます！

成人を祝う会

(1月10日/多賀の里)
昆野拓人さんが成人を迎え、みんなでお祝しました。



23年度より毎年マックスバリュ東北様より飲み物等のご寄付をいただいておりますが、今年度はマックスバリュ矢巾店様と石鳥谷店様よりそれぞれの施設にケーキや軽食、飲み物をいただきました。サンタクロースに扮した店長さんと記念写真！クリスマスの食卓がさらに華やかになりました。ありがとうございました。



サンタさんから素敵なプレゼントをもらい大はしゃぎ♪



職員紹介



遠野コロニー 生活支援員
昆 郁
こん・いく

生年月日 昭和 35 年 7 月 22 日
出身地 一関市藤沢町
趣味 ドライブ
特技 ボウリング、にぎやかさ

【一言】
昨年 3 月より遠野コロニーの職員としてクリーニング科に配属になりお世話になっております。おしぼりやタオルなどの折りたたみや外回りなど、夏場はとても暑く立っているだけでもにじみ出る汗の中での作業は大変でしたが、利用者の頑張る姿や笑顔に助けられながら楽しく一日を過ごすことができました。体調を崩し迷惑をかけてしまったことありましたが、すばやく対応しあたたかく声かけをしていただき、ありがたみを感じられる職場だと思いました。今は夜勤業務に従事していますが、今後も利用者のために支援していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。



石上の園 作業指導員
鈴木 恭
すずき・きょう

生年月日 昭和 33 年 8 月 1 日
出身地 遠野市綾織町
趣味 読書
特技 特筆事項なし

【一言】
平成 26 年 12 月より作業指導員として先輩や上司、利用者の皆様方に支えられ、農産園芸科で主に椎茸の生産に日々汗を流しております。
椎茸の生産は、一定の温度や湿度を保たなければなりません、散水の仕方によっては収量に増減が出てしまいます。もっと研鑽を重ねながら収量の増大に結びつけられるよう努力していきたいと思っています。
今後も一歩一歩ではありますが、利用者の思いや気持ちを大切に、利用者への支援に当たっていきたく思いますのでよろしくお願ひします。

ありがとうございました

ご奉仕くださった方々
(平成 28 年 7 月～平成 29 年 1 月)

- 太田友美様
余暇活動奉仕
(エアロビクス等指導)
- 小松省治・信子夫妻様
作業奉仕(資源再生事業)
- マックスパリュ石鳥谷店様
フルーツ・ピザ等寄贈
- マックスパリュ矢巾店様
ケーキ・ジューズ等寄贈
- 松屋菓子店様
クリスマスケーキ寄贈
- 高砂子酒店様
野菜寄贈
- 小森孝夫様
ジューズ寄贈
- 梅津益子様
果物寄贈
- 白幡 宏様
野菜寄贈
- 西田允子様
野菜寄贈
- 盆おどり会奉仕
★ボランティア
- 菊池光平様・昆 正幸様
石関宏子様・細越沢史子様
菅田大輝様・菅原久美子様
高橋一則様・池口美代子様
多田静江様・鳥屋部浩之様
菊池睦子様

いちおしレシピ

白菜が美味しい季節がやってきました。食卓の一品に、具だくさんでトロ〜り『白菜のうま煮』はいかがでしょう!!

★★★白菜のうま煮★★★

【材料 (3〜4人分)】

- ・白菜 1/4株
- ・豚肉 150g〜
- ・ラーメンスープ 2食分(醤油味)
- ・きくらげ 適量
- ・水溶き片栗粉 適量

※お肉はひき肉でも。その他、タケノコ・人参・椎茸・ネギなど、お好みの野菜を加えてください。

【作り方】

- ①白菜は2〜3cmのざく切り、豚肉は一口大に、きくらげは戻して適当な大きさに切ります。
- ②ごま油で豚肉・白菜・きくらげの順で炒め、白菜がしんなりしてきたらラーメンスープを入れます。
- ③ひと煮立ちしたら水溶き片栗粉を入れ、とろみをつけます。

◆ラーメンスープは薄めずに使います。野菜から水分がでますが、スープを入れたあと足りないようであれば、お水かお酒を少々加えてください。



編集後記

▼改正社会福祉法が施行されたことにより、社会福祉法人の組織・事業の再構築が求められ、現在、定款の変更など、その準備作業に取り組んでいます。改正の中には、社会福祉法人の責務として、「地域社会に貢献する取り組み」として、日常生活及び社会生活に支援を必要とする者を支援するため、無料または低額な料金を福祉サービスを提供するものとする。」という事項が加わり、当法人にあっては社会福祉充実計画を作成しなければならぬことになりました。当面、向こう5年間の計画を作成しなければなりません。関係機関・団体と連携を取りながら、実りある福祉サービスの提供ができるように取り組んでまいります。